

表紙について ▶ マイクロバスで出かければ、まるで遠足! みんなで楽しく畑にGO!! 「城崎こども園」

気比の畑でいろいろな野菜作りに取り組まれている「城崎こども園」を訪ねました。4年ほど前から気比地区の方より畑を借り受け野菜作りが始まりました。4月25日、うさぎ組、きりん組、ぞう組の子どもたちは園長先生が運転するマイクロバスで畑へ出かけます。

この日は「なると金時」苗200本をひとつずつ丁寧にマルチの中に植え、強い日差しで日焼けしないように、採りためておいた「ダンジリ（イタドリ）の葉」を苗の上に被せ、ジョウロでしっかりと水やりをしました。28日には「安納芋」苗も100本追加し合計300本の芋畑の出来上がりです。

10月に掘ったさつまいもで焼きいも大会、11月には畑で育ったほかの野菜と一緒に収穫祭も予定しています。

こうした体験を通じて、最初は土を触ることも嫌がっていた園児もいましたが、畑にいる虫などのいろいろな生き物に興味を持ったり、土の感触やにおいを嗅いだり野菜の香りやいろんな種類の花や実にも少しずつ興味が広がっているようです。

今後、市内各学校園でそれぞれの条件を活かしながら、さらに「食育活動」が広がることを願っています。  
(農業委員 高尾 利美)



職員人事異動

令和4年4月1日付人事異動により豊岡市農業委員会事務局職員の異動がありました。

**新任** よろしくお願ひします。 **旧任** お世話になりました。  
 事務局長 **安藤 洋一** 事務局長 **丸谷 祐二**  
 主任 **北村 亜衣** 主査 **山口 淳也**

全国農業新聞を購読してみませんか!



農業の最新情報を提供

週刊(毎週金曜日発行) 月700円  
(送料、消費税込)

\*お申し込みは 農業委員会事務局または、地元の農業委員・推進委員まで

編集後記

高騰ショックが続いています。テレビや新聞では、食料品の値上げが報道されていますが、農業でも農業機械の値上げや原料不足により肥料が大幅に値上げされます。農産物は値上げのコストアップ部分を販売価格に転嫁しにくく、このままでは、農業経営が持続できなくなる農家も出てくると思われ、そうなる、農地の遊休化が増加することも考えられます。また、国会では、農地の集約化と人の確保・育成、農地保全による荒廃防止などを目指す人・農地関連法が可決され、農地の保全に農業委員会の役割がますます重要になってきます。

豊岡の農地を守っていくためには地域の皆様方の一層のご協力とご支援が必要です。今後ともよろしくお願ひします。  
 最後に第52号「とよおか農委だより」の発行にあたりご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

(編集委員長 仲川 弘之)



農委だより第52号は私たちが担当しました。

後列左から 和田委員、上坂委員、西沢委員  
 前列左から 大原会長、仲川委員、高尾委員